



2024年3月6日

各位

会社名 株式会社 ズーム
代表者名 代表取締役 CEO 工藤 俊介
(コード: 6694、東証スタンダード)
問合せ先 取締役 CFO 山田 達三
(TEL. 03-5297-1001)

(訂正)「2023年12月期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

2024年2月14日に公表いたしました「2023年12月期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」の記載内容に一部修正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

本日2024年3月6日開示の「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせをご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には____を付して表示しております。

【訂正前】

1. 2023年12月期通期業績予想数値と実績値との差異(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,200	百万円 680	百万円 800	百万円 280	円 銭 65.04
実績値(B)	17,901	<u>561</u>	<u>637</u>	<u>89</u>	<u>20.72</u>
増減額(B-A)	701	<u>△118</u>	<u>△162</u>	<u>△190</u>	
増減率	4.1%	<u>△17.4%</u>	<u>△20.3%</u>	<u>△68.1%</u>	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	13,235	664	720	377	88.36

2. 差異の理由

売上高につきましては、前回予想においては北米地域での当社製品の需要低下による年末商戦の苦戦を見込んでおりましたが、レポートの支払や後継機種が発売が予定されているハンディオーディオレコーダーの現行製品についてクリアランスセールの実施を行った等の施策により、年末商戦の実績は予想を上回り、前回予想比701百万円増の17,901百万円となりました。

営業利益につきましては、前述の施策により売上総利益率が見込よりも低下したこと及び販売費及び一般管理費が

前回予想よりも168百万円増加したことから、前回予想比118百万円減の561百万円となりました。増加した販売費及び一般管理費は、主に、人件費、製品保証引当金繰入額、貸倒引当金繰入額であります。

経常利益につきましては、決算日付近の急激な円高の影響を受けたことにより、為替差損が前回予想よりも56百万円増加したことから、前回予想比162百万円減の637百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益がそれぞれ減少したことに加え、固定資産除却損を11百万円計上したこと及び法人税等が前回予想よりも15百万円増加したことから、前回予想比190百万円減の89百万円となりました。

【訂正後】

1. 2023年12月期通期業績予想数値と実績値との差異（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,200	680	800	280	65.04
実績値(B)	17,901	573	649	88	20.64
増減額(B-A)	701	<u>△106</u>	<u>△150</u>	<u>△191</u>	
増減率	4.1%	<u>△15.6%</u>	<u>△18.8%</u>	<u>△68.2%</u>	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	13,235	664	720	377	88.36

2. 差異の理由

売上高につきましては、前回予想においては北米地域での当社製品の需要低下による年末商戦の苦戦を見込んでおりましたが、リベートの支払や後継機種が発売が予定されているハンディオーディオレコーダーの現行製品についてクリアランスセールの実施を行った等の施策により、年末商戦の実績は予想を上回り、前回予想比701百万円増の17,901百万円となりました。

営業利益につきましては、前述の施策により売上総利益率が見込よりも低下したこと及び販売費及び一般管理費が前回予想よりも176百万円増加したことから、前回予想比106百万円減の573百万円となりました。増加した販売費及び一般管理費は、主に、人件費、製品保証引当金繰入額、貸倒引当金繰入額であります。

経常利益につきましては、決算日付近の急激な円高の影響を受けたことにより、為替差損が前回予想よりも56百万円増加したことから、前回予想比150百万円減の649百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益がそれぞれ減少したことに加え、固定資産除却損を11百万円計上したこと及び法人税等が前回予想よりも19百万円増加したことから、前回予想比191百万円減の88百万円となりました。

以 上